

エール

気まぐれな季節が
また巡れば雪の中埋もれた
春がまた花開くというのに
記憶の奥の消せない影に惑い

悲しみの底にいるのならば
手を差し伸べ空を見せてあげよう
一人が寂しくなった時は
ただそばで笑ってあげよう

たとえどんなに月日が流れても
決して変わることない想いがある
一人で歩む君に伝えよう
春も夏も秋もこれからもずっと
二人をつなぐ絆が消えぬように

さりげない言葉に
また目覚めるかけがえない記憶
帰らないあの日々に縛られて
冷たい風に心が痛み出して

秋の終わりを嘆くならば
消えない温もりを思い出させよう
二人が恋しくなった時は
ささやかな優しさをあげよう

たとえどんなに月日が流れても
決して忘れられない想いがある
二人で歩んだ道に息づく願い
厳しい冬に蕾を閉じて
春の訪れと共にまた咲き誇る

長い長い冬が明け
桜が開けば
君は私とまた出会う

たとえどんなに月日が流れても
決して褪せることない想いがある
一人で歩む君に伝えよう
春も夏も秋も凍える冬にも
二人をつなぐ絆が生きてること